incipit 保育園 令和3年度 全体的な計画

保	育 理 念	一人ひとりを主人公に		保育方針	色々な体験・心を	を動かす	共に育つ					
	保育目標	三つのごかん ≪O歳「視覚・嗅覚・頭										
		① おおむね 6 か月未満 ・特定の大人との間に情緒的な絆の形成 ・心身の著しい発達 ②おおむね 6 か月から 1 歳 3 か月 ・運動機能の発達による活発な探索活動 ・愛着と人見知り										
	発達過程	③ おおむね 1 歳 3 か月から 2 歳 ・歩行の開始と言葉の習得 ・人や物との関りの意欲の高まり ④おおむね 2 歳 ・身の回りのことを自分でしようとする ・自己主張、模倣遊び								遊び		
		【養護】・くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る・健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を養う										
	10.7.1.)	・人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い道徳性の芽生えを養う										
	ねらい	【教育】・生命、自然についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う・生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養う										
		・様々な経験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う										
		養護		健康的な心と	と体(身体的発達)	身近な人との関わり		2(社会的発達)		な物との関わり(精神的発達)		
		・保健的で安全な環境を作り、常に身体の異常を把握し、疾病異常は早く発見し、		一人ひとりの発育に応	ぶじて、はう、立つ、歩	歩くなど、・温かく、受容的な関わりを通じて		通じて、自分を肯定する気	・身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心を			
		快適に生活できるようにする。		十分に体を動かす。			持ちが芽生える。		持つ。			
	O 歳児	一人ひとりの子どもの状態に応じて、ス	(キンシップを十分に取りながら、心身	・個人差に応じて授乳を	を行い、離乳を進めて	いく中で・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情		を深め、愛情や信頼関係を	• 玩具や身の[回りのものを、つまむ、つかむ、たたく、		
		ともに快適な状態を作り、情緒の安定を図る。		様々な食品に少しずつ)慣れ、食べることを薬	楽しむ。 深める。			引っ張るなる	ど、手や指を使って遊ぶ。		
				• 保育士等の愛情豊かな	受容の下で、生理的・	・心理的欲・生活や遊びの中で、自分の身		身近な人の存在に気付き、				
				求を満たし、心地よく	生活する。	親しみの気持ちを表す。						
		養護	健康	人間関			言葉	表現		環境		
	1 歳児	・保健的で安全な環境を作り、快適に生								・本物に触れる中で生き物や自然の名		
内容		活できるようにする。	のことに興味を持ち自分でやろうと	り、関わりを持とう	うとする。	や指差して	で伝えようとする。	な感覚を味わう。		称・特徴に興味を持ち、深い理解や想		
		・一人ひとりの子どもの欲求を受け止	する。	・保育士等の仲立ちに		二語文が	増えてくる。	・感じたことや考えたこと	などを自分な	像性を育む。		
		め、スキンシップを取り、安心して過	手づかみで食べたり、スプーンやフォ			二語文が対	増えてくる。	感じたことや考えたこと りに表現しようとする。	などを自分な	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを		
						・二語文がは	増えてくる。		などを自分な			
		め、スキンシップを取り、安心して過 ごせるようにする。	手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。	との関わり方を少し	ンずつ身につける。			りに表現しようとする。		・自由にコーナーを選び、好きな遊びを		
		め、スキンシップを取り、安心して過 ごせるようにする。	手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。	との関わり方を少し	ンずつ身につける。 深まり、思いやりの			りに表現しようとする。		自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。		
	2 柴旧	め、スキンシップを取り、安心して過 ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しず	・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。・スプーン、フォークなどを使い、一人	との関わり方を少し ・友達との関わりが済気持ちを育み人間限	いずつ身につける。 Rまり、思いやりの 場係の基礎を培う。	•言葉遊びY じる。		りに表現しようとする。 ・音楽に触れ、メロディや	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。・本物に触れ、生き物や自然の名称・特		
	2 歳児	め、スキンシップを取り、安心して過 ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しす つ身につくようにする。	・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。	との関わり方を少し ・友達との関わりが済気持ちを育み人間限	アまり、思いやりの 関係の基礎を培う。 の、ぶつかり合いも	言葉遊びないる。・人の言葉ない。	や言葉で表現する楽しさを感	りに表現しようとする。 ・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育		
	2歳児	め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関	 手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、 	との関わり方を少し・友達との関わりが深 気持ちを育み人間限・自己主張が強くなり	では、思いやりの 場所の基礎を培う。 つ、ぶつかり合いも まま等の仲立ちによ	言葉遊びないる。・人の言葉ない。	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思	りに表現しようとする。・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。・様々な感触に触れながら	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。		
	2 歳児	め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表	 手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 	との関わり方を少し ・ 友達との関わりが 気持ちを育み人間 ・ 自己主張が強くなり 多くなる中で、保育	では、思いやりの 場所の基礎を培う。 つ、ぶつかり合いも まま等の仲立ちによ	言葉遊びないる。・人の言葉ない。	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思	りに表現しようとする。・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。・様々な感触に触れながら	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触		
	2 歳児	め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表	 ・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 ・身の回りのことで出来ることが増え、達成感や満足感を得る。 	との関わり方を少し ・ 友達との関わりが 気持ちを育み人間 ・ 自己主張が強くなり 多くなる中で、保育	でである。 できる	言葉遊びいじる。人の言葉やったことなる	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思	・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。・様々な感触に触れながら力を養う。	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触 れ、材質や触感を味わい、その素材な らではの遊びの楽しさを感じる。		
	2 歳児	め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。	 ・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 ・身の回りのことで出来ることが増え、達成感や満足感を得る。 	との関わり方を少し ・友達との関わりが努 気持ちを育み人間酸 ・自己主張が強くなり 多くなる中で、保育 り友達との関わりだ	では、思いやりの 関係の基礎を培う。 の、ぶつかり合いも 計士等の仲立ちによ がを身につける。	・言葉遊びい じる。 ・人の言葉や ったことな	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思 を伝えようとする。 ・自分でやろうとする気持ち	 ・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。 ・様々な感触に触れながら力を養う。 	ウリズムに合わ o、感性や創造 人ひとりに合っ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触 れ、材質や触感を味わい、その素材な らではの遊びの楽しさを感じる。		
ñ.		め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・子どもの様々な欲求を満たし、特定の保	・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 ・身の回りのことで出来ることが増え、達成感や満足感を得る。	との関わり方を少し ・友達との関わりが努気持ちを育み人間関 ・自己主張が強くなり 多くなる中で、保育り友達との関わりた ・自分でやりたい意欲を	では、思いやりの 関係の基礎を培う。 の、ぶつかり合いも では、いかのないものでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	・言葉遊びな じる。 ・人の言葉や ったことを	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思 を伝えようとする。 ・自分でやろうとする気持ち	りに表現しようとする。 ・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。 ・様々な感触に触れながら力を養う。 を尊重しながら、子ども一。	リズムに合わ 、感性や創造 人ひとりに合っ 立ちとなって自	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触 れ、材質や触感を味わい、その素材な らではの遊びの楽しさを感じる。 た援助を行う。 3分の思いを相手に伝えることや相手の気		
<u>a</u>	2歳児	め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・子どもの様々な欲求を満たし、特定の保との信頼関係が十分築くようにする。 ・食事、排泄、睡眠、着脱など、基本的なりの発達・発育を十分に考慮した上で多	・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 ・身の回りのことで出来ることが増え、達成感や満足感を得る。 育士等が継続的に関わることで子ども は生活習慣に関しては、子ども一人ひとな庭との連携の下で行う。	との関わり方を少し ・友達との関わりが済気持ちを育み人間関・自己主張が強くなが多くなる中で、保育り友達との関わりだ・自分でやりたい意欲をには次への意欲に繋が・自我の育ちを見守り、きちとして友達との関わ	ですつ身につける。	・言葉遊び\ じる。 ・人の言葉\ ったこと? がった時 行う。 等が仲立	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思 を伝えようとする。 ・自分でやろうとする気持ち ・子どもの自我の育ちを見守 持ちに気付くことの大切さ ・本物に触れる中で、興味・B	りに表現しようとする。 ・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。 ・様々な感触に触れながら力を養う。 を尊重しながら、子ども一。 るとともに、保育士等が仲など、友達の気持ちや関わい	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触 れ、材質や触感を味わい、その素材な らではの遊びの楽しさを感じる。 た援助を行う。 3分の思いを相手に伝えることや相手の気		
5		め、スキンシップを取り、安心して過ごせるようにする。 ・身の周りの安全、清潔の習慣が少しずつ身につくようにする。 ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ・子どもの様々な欲求を満たし、特定の保との信頼関係が十分築くようにする。 ・食事、排泄、睡眠、着腕など、基本的な	・手づかみで食べたり、スプーンやフォークを使ったりして食事を楽しむ。 ・スプーン、フォークなどを使い、一人で食べる満足感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、歩く、走る、跳ぶなど様々な動きをしようとする。 ・身の回りのことで出来ることが増え、達成感や満足感を得る。 育士等が継続的に関わることで子ども は生活習慣に関しては、子ども一人ひとな庭との連携の下で行う。	との関わり方を少し ・友達との関わりが済気持ちを育み人間限 ・自己主張が強くなり 多くなる中で、保育り友達との関わりが ・自分でやりたい意欲をには次への意欲に繋が ・自我の育ちを見守り、き	でである。 といかりの 関係の基礎を培う。 の、ぶつかり合いも 質士等の仲立ちによった動きかける。 といるような働きかけを行 受け止めながら保育士 のを丁寧に伝える。 はまが総称を使わず、	・言葉遊び\ じる。 ・人の言葉\ ったこと? がった時 行う。 等が仲立	や言葉で表現する楽しさを感 や話などを聞き、自分でも思 を伝えようとする。 ・自分でやろうとする気持ち ・子どもの自我の育ちを見守 持ちに気付くことの大切さ	りに表現しようとする。 ・音楽に触れ、メロディやせた表現を楽しむ。 ・様々な感触に触れながら力を養う。 を尊重しながら、子ども一。 るとともに、保育士等が仲など、友達の気持ちや関わい	リズムに合わ	・自由にコーナーを選び、好きな遊びを 見つけ、満足できるまで遊び込む。 ・本物に触れ、生き物や自然の名称・特 徴に興味を持ち、探求する意欲を育 む。 ・自然物や紙、粘土など様々な素材に触 れ、材質や触感を味わい、その素材な らではの遊びの楽しさを感じる。 た援助を行う。 3分の思いを相手に伝えることや相手の気 える。		

健康	支	ž 援		安事	全故	対防	策止	・遊難・消火訓練(毎月1回) ・不審者対応訓練(年1・水書訓練(年1回) ・大規模災害時引き渡し訓練(年			
保 護	₹	·	・子どもの園生活や健康状態、事故の際の状況説明など、家庭との密接な連携を取る。								
地域~	への	支 援	・子育ての悩みや園への要望などを相談しやすい環境を作り、保護者との信頼関係、協力関係を築いていく。								
食 育	育計	· 画	・【食】に興味をもてるようになる。								
以		・旬の食材を味わい、食事の楽しさを知り、【食】に親しむ。									
			O歳児					1 歲児	2 歳児		
=m /#											
5¥ 1Ⅲ	i • 反	反 自									